千葉県立美術館 年報 No. 41 平成 26 年度

April 2014 - March 2015

Annual Report of Chiba Prefectural Museum of Art

ご あ い さ つ

千葉県立美術館は、昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様の様々な美術に対する要望にお応えできるよう努めておりますが、このたび、平成26年度の活動をとりまとめた「年報№41」を刊行いたします。

当館は、開館以来約40年が経過したため、耐震を図る耐震改修工事並びに経年による性能劣化のため、建設・電気・設備工事を主とする諸工事を、平成25年1月から約2年間実施し、それに伴い施設は休館いたしました。

平成26年9月30日に諸工事が竣工し、平成27年1月23日には、「開館40周年及び再開館記念式典」を挙行いたしました。翌24日からは、開館40周年記念特別企画展「平山郁夫展―仏教伝来の軌跡、そして平和の祈り―」を開催し、3万人近い来館者をお迎えすることできました。

また、「千葉県立美術館名品展」、「彫刻展」、「千葉県立美術館40年の歩み展」も同時に開催し、全室当館の自主企画という初めての実施形態となりました。広い展示室でゆったりと作品を鑑賞する展覧会は好評を博し、ギャラリートークやワークショップを実施しました。

さらに、休館中も、移動美術館を柏と浦安で開催したほか、子どもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうための「ワークショップ」、シニア世代の生涯学習として意欲的な創作の場を提供する「実技講座」、複製画や日本画素材BOXを教材とし地域や学校との連携事業を開催いたしました。特に、日本赤十字社千葉県支部と連携し、東日本大震災被災地の子どもたちを訪ね、当地の子どもたちがビルダーカードを無心に創作する美術の力で癒してもらう「夢つくり隊」事業は、多くのメディアに取り上げられ、復興への一助として「美術館ができること」を実践することができました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の指導と支援をいただきますようお願いいたします。

平成28年2月

千葉県立美術館長
田村　俊雄

目　次

ごあいさつ　1
沿革　4
平成26年度主要記事　6
展示事業
1　アート・コレクション展　8
2　パネル展　10
3　特別企画展　11
4　第38回千葉県移動美術館　15
普及事業
1　特別企画展関連事業　16
2　ワークショップ　18
3　実技講座　19
4　博学連携事業　20
5　地域連携事業　21
6　美術をとおした復興支援活動　22
7　活動協力など　23
8　情報資料室　24
調査・収集事業
1　平成26年度貸出資料一覧　26
2　平成26年度新収蔵資料一覧　27
3　平成26年度収蔵資料数一覧　27
管理運営
1　組織　30
2　平成26年度職員　30
3　平成26年度利用状況　31
4　千葉県立美術館耐震改修等工事　32
5　施設　34

平成26年度利用案内　36

沿　革

昭和44年12月９日　第１回千葉県立美術館建設懇談会を開催
昭和45年１月19日　県立美術館建設の請願書が２月県議で採決
昭和45年７月24日　建設地として千葉公園に内定
昭和45年11月12日　第１回美術館設置準備専門委員会を開催
昭和46年３月31日　千葉公園内の美術館基本構想成立
昭和46年６月24日　体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示
昭和47年１月５日　建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換
昭和47年３月31日　基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）
昭和47年７月31日　展示棟第１期工事の実施設計完了
昭和47年９月21日　展示棟杭打工事着工
昭和47年10月13日　展示棟建築工事請負契約議案可決
昭和47年12月10日　展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）（写真１）
昭和48年４月１日　文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始
昭和48年11月30日　管理棟（第２期工事）の実施設計完了
昭和49年３月31日　展示棟竣工
昭和49年４月１日　千葉県立美術館発足（職員14名）
昭和49年10月23日　開館記念式典開催（写真２）
昭和49年10月24日　開館記念展「千葉県美術展覧会」開催
一般公開開始（写真３）
昭和50年２月21日　管理棟杭打工事着工
昭和50年３月13日　管理棟建築工事請負契約議案可決
昭和50年３月16日　管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
昭和51年２月20日　管理棟竣工
昭和51年３月２日　管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催
昭和51年６月７日　寄付によって、正面玄関植栽
昭和52年３月12日　彫刻の野外展示開始
昭和52年４月10日　展示棟の一室に美術普及室を開設
昭和53年１月18日　外構工事として、駐車場拡張（97台）
昭和53年２月21日　美術普及棟の準備会発足
昭和53年10月17日　美術普及棟建築予算を計上
昭和53年11月18日　浅井忠像完成除幕式
昭和53年11月30日　美術普及棟実施設計完了
昭和54年１月８日　美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
昭和54年３月５日　県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
昭和54年３月22日　県民アトリエ棟建築工事着工
（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）（写真４）
昭和55年２月29日　県民アトリエ棟竣工
昭和55年３月16日　県民アトリエ棟完成記念講演会
昭和55年４月１日　千葉県美術品取得基金条例施行
昭和55年９月９日　県民アトリエ棟情報資料室開設
昭和58年７月29日　美術普及コーナー開設
昭和58年11月12日　開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
昭和61年３月25日　展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
昭和61年４月10日　入口門扉４ヶ所設置
昭和61年４月23日　美術館西側沿道寄り生垣植栽
昭和61年８月12日　講堂浸水防止工事完了
昭和62年３月25日　機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
昭和62年10月15日　展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
昭和63年５月20日　受水槽設備改修工事（地上式）着工
昭和63年８月31日　受水槽設備改修工事（地上式）完了
昭和63年８月31日　展示棟（第８展示室）、収蔵庫（第３、４室）、機械室増築工事完了
平成元年２月28日　増築展示棟周辺芝張工事完了
平成元年４月１日　普及課が新設され、３課で業務実施
平成元年４月20日　開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
平成元年９月11日　空調機改修工事実施設計完了
平成２年６月８日　空調機改修工事完了
平成２年９月29日　収蔵庫（第１、２室）冷凍機改修工事着工
平成２年11月７日　室内標識改修工事着工
平成３年１月31日　収蔵庫（第１、２室）冷凍機改修工事完了
平成３年２月20日　室内標識改修工事完了
平成３年12月６日　空調用ポンプ改修工事完了
平成４年４月１日　運営の一部が（財）千葉県社会教育施設管理財団へ委託
平成４年10月20日　温湿度記録装置改修工事完了
平成４年12月18日　食堂改修工事完了
平成６年７月23日　開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催
平成10年２月23日　ガス設備改修工事完了
平成10年12月24日　空調設備改修工事完了
平成11年６月５日　開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
平成12年３月30日　屋根材剥落補修工事完了
点字ブロック設置工事完了
平成12年７月31日　文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
平成13年３月29日　屋根材剥落補修工事（第７展示室）完了
平成14年３月25日　屋根材剥落補修工事（第６展示室）完了
平成14年３月25日　非常灯用直流電源装置改修工事完了
平成14年３月25日　防犯カメラ改修工事完了
平成14年12月20日　直流電源装置蓄電池改修工事完了
平成15年３月25日　空調設備改修工事実施設計完了
平成15年７月10日　空調設備改修工事完了

平成12年7月31日	文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
平成13年3月29日	屋根材剥落補修工事（第7展示室）完了
平成14年3月25日	屋根材剥落補修工事（第6展示室）完了
平成14年3月25日	非常灯用直流電源装置改修工事完了
平成14年3月25日	防犯カメラ改修工事完了
平成14年12月20日	直流電源装置蓄電池改修工事完了
平成15年3月25日	空調設備改修工事実施設計完了
平成15年7月10日	空調設備改修工事完了
平成16年4月18日	来館者500万人達成
平成16年11月27日	開館30周年記念企画展「漁民を描く－渡辺學の世界」開催
平成17年8月20日	空調用インバータ装置改修工事完了
平成18年3月21日	電話装置改修工事完了
平成18年3月31日	アトリエ棟空調機修繕工事完了
平成18年3月31日	(財)千葉県社会教育施設管理財団への運営委託終了
平成21年3月31日	空調設備修繕工事完了
平成22年3月25日	耐震補強事前調査完了
平成23年6月30日	耐震補強設計完了
平成24年3月21日	耐震意匠設計完了
平成24年9月	総合評価方式の一般競争入札
平成24年12月	定例議会で契約承認
平成24年12月12日	耐震改修等工事着工
平成25年1月4日	耐震改修等工事により休館
平成26年9月30日	耐震改修等工事竣工
平成27年1月23日	開館40周年及び再開館記念式典実施（写真5）
平成27年1月24日	開館40周年記念特別企画展「平山郁夫展—仏教伝来の軌跡、そして平和の祈り—」を開催（写真6）

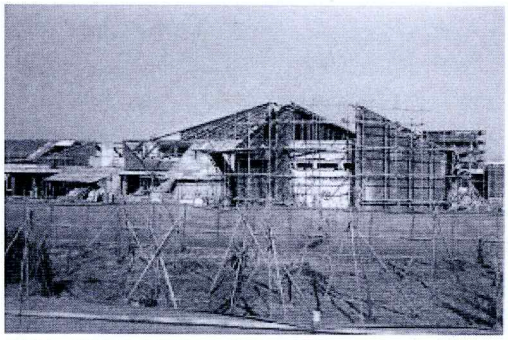


写真1　建設中の展示棟（昭和48年撮影）

写真2　開館記念式典

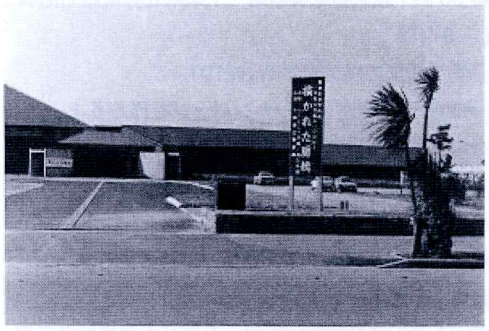


写真3　開館記念特別展「描かれた房総」

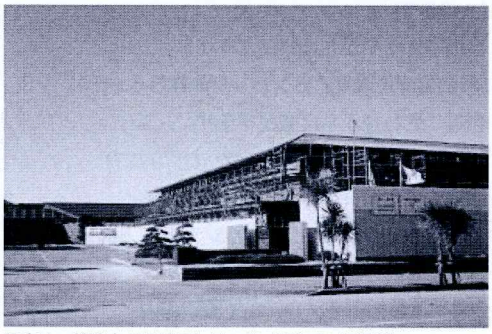


写真4　建設中の県民アトリエ棟（昭和54年撮影）

写真5　開館40周年及び再開館記念式典

写真6　開館40周年記念特別企画展「平山郁夫ー仏教伝来の軌跡、そして平和の祈りー」テープカット

平成26年度主要記事

5月17日　第1回ワークショップ　国際博物館の日記念事業「いろいろ作ろう、美術館の縁日だよ！」
会場：さわやかちば県民プラザ

5月28日　実技講座　陶芸講座（応用）
会場：千葉県立房総のむら(～5/30、6/4・12・25)

6月7日　ボランティア第1回全体研修会

6月21日　第2回ワークショップ「小さなアニメーションを作ろう！」会場：千葉市生涯学習センター

7月26日　第38回千葉県移動美術館　千葉県立美術館名品展(～8/10)
会場：浦安市民プラザWave101

7月26日　(移動美術館関連事業）カンバッジを作ろう！
会場：浦安市民プラザWave101

8月6日　夢つくり隊～まちづくりプロジェクト～
会場：釜石市内（～8/7）

8月16日　第3回ワークショップ「立体万華鏡を作ろう！」
会場：千葉ポートタワー

8月23日　第38回千葉県移動美術館　千葉県立美術館名品展(～9/7)
会場：さわやかちば県民プラザ

8月30日　(移動展関連事業）カンバッジを作ろう！
会場：さわやかちば県民プラザ

9月20日　ホリデーアート　コラグラフ　(～9/27)
会場：千葉県青少年女性会館

9月27日　第4回ワークショップ「オリジナルモノレールを作ろう！」
会場：千葉都市モノレール千葉駅構内

10月18日　ホリデーアート シルバーアクセサリー(～10/25)
会場：千葉県青少年女性会館

10月18日　ちばモノレール祭り2014
会場：萩台車両基地

11月26日　実技講座　陶芸講座（応用）
会場：千葉県立房総のむら（～11/28、12/3・4、2/6、3/6）

11月29日　第5回ワークショップ「クリスマスオーナメントを作ろう！」
会場：千葉ポートタワー

1月24日　開館40周年記念特別企画展「平山郁夫展―仏教伝来の軌跡・そして平和の祈り―」(～3/22)

1月24日　アート・コレクション「千葉県立美術館名品展」(～3/29)

1月24日　パネル展「千葉県立美術館40年の歩み」(～4/4)

1月24日　(特別企画展関連事業)「オープニングコンサート」

1月25日　(特別企画展関連事業)「高校生による新春コンサート」

1月27日　アート・コレクション「彫刻」(～3/29)

2月3日　実技講座　金工(・2/5・10・12・17・19・24)
会場：千葉県立美術館県民アトリエ棟

2月7日　(特別企画展関連事業)「ミュージアムコンサート」

2月15日　(特別企画展関連事業)ワークショップ「はじめての日本画体験」

■展示事業■

1　アート・コレクション展

千葉県立美術館名品展

千葉県立美術館は、昭和 49 年（1974）の開館以来、「房総と近代美術」を基本テーマに掲げ、千葉県ゆかりの作家やその作品を中心に収集活動を続け、さらに全国的かつ国際的視野も加えながら、その充実に努めてきた。

コレクションは時代と共に成長し、今では 2,400 点を超える作品と、約 1,600 点の関連資料が大切に保存されている。

これらの作品は、研究の成果を反映して様々な角度から光が当てられ、新たな息吹を吹き込まれて、展覧会をはじめ、各種印刷物やホームページ上のデジタルミュージアムなど多種多様な形で紹介してきたところである。

本展は開館 40 周年を記念して、これまでの収集活動を、75 点の名品で振り返る内容とした。

会　　期　平成 27年 1月 24日（土）～3月 29日（日）
開催日数　50 日間
会　　場　第 4・5 展示室
展示点数　75 点

■関連事業

ギャラリートーク　1 月 29 日（木）13:00 ～　44 名
　　2 月 8 日（日）13:00 ～　12 名

No.	作家名	作品名	制作年
＜日本画＞			
1	石井林響	漁樵	1913
2	石井林響	桃源	1913
3	小野具定	遠くなった海	1974
4	加倉井和夫	穀機	1967
5	後藤純男	山門雨後	1974
6	酒井亜人	晩秋	1952
7	関　主税	晨	1984
8	時田直善	春野 / 三部作 揚げ・鳴き・台切	1937
9	富取風堂	葛西風景	1937
10	東山魁夷	春雪	1973
11	松尾敏男	歴程	1984
12	横尾芳月	新春	
13	若木　山	波上海女図	1953
14	渡辺　學	夜明け	1976
＜洋画＞			
15	浅井　忠	藁屋根	1887
16	浅井　忠	フォンテンブローの夕景	1901
17	浅井　忠	漁婦	1897
18	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
19	石井柏亭	晩春行楽図	1938
20	石橋武治	細道	
21	板倉　鼎	裸婦	1929
22	梅原龍三郎	純子像	1968
23	大下藤次郎	久々子湖	1911
24	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860-1865
25	岸田劉生	霽れたる冬之日	1917
26	クールベ	雪の中の小鹿	1869
27	小堀　進	逆光	1974
28	トロワイヨン	河辺の道	1860-1865
29	笹岡了一	放蕩息子の帰宅	1960
30	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860 頃
31	椿　貞雄	牡丹	1920
32	都鳥英喜	八瀬の秋	1929
33	中西利雄	四人の女	1939
34	原　勝郎	モンマルトル	1935
35	ルノアール	少女像	1916-1918
36	不破　章	二女	1953
37	堀江正章	耕地整理図	1901-1902
38	三宅克己	ローマ	1920
39	安井曽太郎	熱海附近	1929
40	柳　敬助	婦人像	
＜彫刻＞			
41	大須賀力	もたれる	1957
42	佐藤忠良	ラップ帽	1982
43	高村光太郎	手	1918
44	長谷川昂	砂あそび	1997
45	舟越保武	婦人像	1985
＜工芸＞			
46	青木滋芳	黒潮	1977
47	秋山逸生	蝶貝象嵌箱	1966
48	香取秀真	鳩香炉	1949
49	香取正彦	朧銀玉錯花瓶	1977
50	佐治賢使	さやか	1985
51	高村豊周	青銅花入	
52	帖佐美行	香実と想鳥（集いの為の酒器セット）	1984
53	津田信夫	鳳翔薫炉	1937
54	土肥刀泉	釉彩両耳花瓶	1967
55	中臺瑞真	桐経箱	1992
56	信田　洋	透壺	1968
57	藤田喬平	飾筥・しだれ櫻	1985
58	増村益城	紙胎朱溜葉盤	1987
59	宮之原謙	彩盛百合文壺	1974
60	山本正年	瑞光	
＜書＞			
61	浅見喜舟	崔子玉座右銘	1967
62	浅見錦龍	良寛の詩	1968
63	石井雙石	一笑百印	1947
64	小暮青風	天飈	1966
65	高澤南総	春風秋月	1965
66	種谷扇舟	感謝の一生	1998
67	千代倉桜舟	宗左近の詩	1988
＜版画＞			
68	池田満寿夫	シンデレラの広告	1966

69	野田哲也	Diary:May 7th'86 in Nara	1986
70	浜口陽三	赤い鉢と黒いさくらんぼ	1966
71	浜口陽三	パリの屋根	1956
72	深沢幸雄	凍れる歩廊（ベーリング海峡）	1978
73	深沢幸雄	小鳥紳士	1988
74	星　襄一	夜明け	1975
75	星　襄一	王の樹	1976

彫刻一刻まれた時

彫刻は、絵画とは異なる特有の「時」を表現しているのではないかという問いから、5つのテーマ（1）時間の経過に伴い、ストーリーが展開されていく作品（2）一瞬の出来事を取り上げた作品（3）存在をテーマとしている作品（4）時間とともに原形が失われ、あるいは変化して現れた姿を表現した作品（5）人知れぬ時間の出来事　を設定し、それぞれの魅力を紹介した。

会　　期　平成27年1月27日(火)～3月29日(日)
開催日数　54日間
会　　場　第7展示室
展示点数　20点（野外彫刻3点を含む）

■関連事業

ギャラリートーク	2月19日(木)	13:00～	30名
	3月1日(日)	13:00～	28名
	3月12日(木)	13:00～	35名
	3月22日(日)	13:00～	26名

No.	作家名	作品名	制作年
1	鈴木　徹	馬と娘の恋物語（3部作一秋・冬・早春）	1984
2	金田雄作	Bed Room N氏邸見取図より	1984
3	笠原鉄明	帰る日	1993
4	原　武典	水の中の太陽（´81）	1981
5	原　武典	水の中の太陽（´82）	1982
6	長谷川昂	朝	1979
7	鈴木　実	存在する私	1977
8	陰里寿朗	構造上の森(街かもしれない)	1988
9	浦野八重子	生きるということ	1987
10	郡司和雄	詩人の肖像	1976
11	山本正道	ヴァージニア	1979
12	山本正道	エトルリアの壺	1985
13	伴　正史	人「無言」	1997
14	松本雄治	大母神、空を翔ける	1984
15	伊藤礼太郎	夜叉神解脱	1982
16	澤田志功	森は観つめる	1995
屋内常設展示・野外彫刻から			
1	柳原義達	風の中の鴉	1984
2	鈴木　徹	帰雲・春	1978
3	零駒無蔵	過ぎし日のアパート	1989
4	中岡慎太郎	FANTASY	1993

千葉県立美術館名品展　第4室会場風景

千葉県立美術館名品展　第5室会場風景

千葉県立美術館名品展　第5室会場風景

2　パネル展

千葉県立美術館 40 年の歩み

40 年にわたる県立美術館の歩みを、年表・写真パネル・ポスター・実物資料などでたどりながら、学校や地域との連携事業など多様化していく美術館活動の様子、近年の東日本大震災の被災地復興支援への取り組みなども紹介した。

これまでの歩みを振り返るとともに、来館者が望むこれからの美術館へのメッセージを掲示するコーナーも設け、今後の県立美術館の姿を共に考える機会とした。

会　　期　平成 27 年 1 月 24 日（土）～4 月 4 日（土）
開催日数　61 日間
会　　場　第 6 展示室

展示構成

1 開館、そして動き始めた美術館
2 房総の美術家シリーズ
3「浅井忠記念賞展」と「現代日本具象彫刻展」
4 千葉県移動美術館
5 多彩な美術館の活動
6 広がる美術館の活動
7 これからの千葉県立美術館

展示資料

導入部　写真コラージュ

全体の壁面　特別展、企画展のポスター　77 点
展示ケース　特別展、企画展の図録　40 冊
年報、館報、収蔵品目録、房総の美術史

1 開館、そして動き始めた美術館

・開館記念式典配付資料一式
・開館に関連する新聞、雑誌等の写真・記事などの記録類
・写真パネル、開館記念展「描かれた房総」ポスター

2 房総の美術家シリーズ

・関連企画展の図録 21 冊、写真パネル、ポスター 9 点

3「浅井忠記念賞展」と「現代日本具象彫刻展」

・関連企画展の図録 11 冊、写真パネル、ポスター 8 点
・彫刻作品　工藤　健「愁いのマンドーラ」
　　綿引道郎「詩人－生をみつめる」

4 千葉県移動美術館

・関連する展示の写真パネル、ポスター 32 点
・これまでの開催地の地図

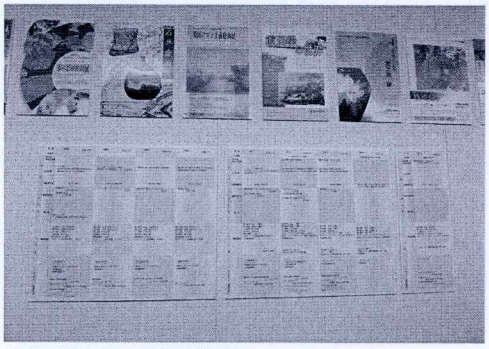
5 多彩な美術館の活動

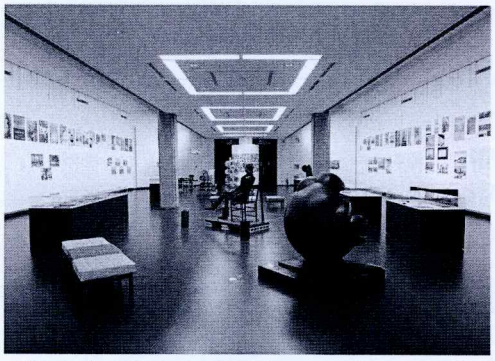
・関連事業の写真パネル
・ワークショップ制作作品

6 広がる美術館の活動

・関連事業の写真パネル
・「夢つくり隊」パネル
・ビルダーカード

導入部　写真コラージュ


企画展ポスター、関連事業パネル


会場全体／中央手前から工藤健「愁いのマンドーラ」、綿引道郎「詩人 - 生をみつめる」

会場全体／手前 ビルダーカード、右手前 ワークショップ作品等
右奥 千葉県移動美術館ポスター　左奥 企画展ポスター

3　特別企画展

平山郁夫ー仏教伝来の軌跡と平和への祈りー

平山郁夫は、広島県瀬戸田町（現尾道市）に生まれ、自らの被爆体験に基づき、仏教への強い関心と平和への祈りを込めて、壮大なスケールの作品を描き続けた。シルクロードや日本の各地を取材し、感銘を受けて描いた数々の作品は、現在でも見る人を魅了してやまない。

本展は、滋賀県守山市の佐川美術館の所蔵作品を中心に、《大唐西域壁画》や《平和の祈りーサラエボ戦跡》をはじめ、本画や素描など約９０点を展示し、平山郁夫の芸術の軌跡とその旅路を紹介した。

会　　期　平成27年1月24日（土）～3月22日（日）
開催日数　50日間
会　　場　第1・2・3・8展示室
展示点数　93点
入場者数　29,337名
主　　催　千葉県立美術館
企画協力　佐川美術館
特別協力　平山郁夫シルクロード美術館

■関連事業

ギャラリートーク	1月29日(木)	13:00～	60名
	2月8日(日)	13:00～	40名
	2月19日(木)	13:00～	75名
	3月1日(日)	13:00～	50名
	3月12日(木)	13:00～	35名
	3月22日(日)	13:00～	26名

記念対談・ワークショップ・ミュージアムコンサート
P16・17に別記。

第1章　仏教伝来とシルクロード　ーインド・西アジア・中央アジアー

No.	作品名	制作年
1	仏誕の地　ルンビニー・ネパール	1995
2	ナーランダの大塔	1991
3	ガンジス河畔	1971
4	ガンジス河の朝	1993
5	サルナートのスツーパ　インド	1991
6	仏立像　サルナート　ニューデリー大統領官邸	1991
7	サンチーの大塔　インド	1991
8	タジマハール遠望　アグラ　インド	1991
9	ガンダーラ仏	1991
10	ガンダーラ仏	1991
11	仏座像　ガンダーラー　三世紀	1991
12	菩薩座像　ガンダーラー　三世紀	1991
13	菩薩立像　ガンダーラー　三世紀	1991
14	ガンダーラの遺跡 モラモラド パキスタン	1991
15	出山釈迦	1965
16	インダス河上流　久遠の流れ	1982
17	インドの女性　ナーランダ	1991
18	アフガニスタンの少女	1990
19	インドの男性　ジャイサルメール	1991
20	中央アジア　ウズベクの老人	1991
21	ストッコ 仏座像 ハッダ出土 カーブル博物館	1991
22	バーミアンの大仏　アフガニスタン	1990
23	故城下村民帰牧図	2002
24	デカン高原　オーランガバード	1995
25	アジャンター石窟　第十窟　インド	1992
26	飛天浮彫り カイラサナーター寺院 エローラー	1991

第2章　悠久の大地　ー中国・韓国ー

No.	作品名	制作年
27	大慈恩寺　大雁塔　西安	1991
28	木の塔　万寿寺　河西回廊　張掖	1991
29	万里の長城　最西端　嘉峪関	1995
30	敦煌莫高窟	1991
31	敦煌莫高窟	1991
32	菩薩立像　第四十五窟　西壁　敦煌莫高窟	1995
33	楼蘭の遺跡　仏塔	1991
34	漢代の烽火台 天山山脈とクズルガハ千仏洞を望む クチャ	1991
35	雲崗石窟　第三窟　本尊　石仏　大同	1991
36	雲崗石窟　第三窟　菩薩脇侍　大同	1991
37	上華厳寺　大雄宝殿　大同	1991
38	故宮を望む　北京	1994
39	南京城壁と鶏鳴寺	1995
40	南京城壁の上から鶏鳴寺を望む	1995
41	南京城壁と前湖	1995
42	飛天	1966
43	南京城壁への階段　中華門	1995
44	南京城壁　玄武門	1995
45	中華門　南京城	1995
46	玄奘三蔵を祀った霊谷寺　南京	1995
47	南京城門	1995
48	蘇州	1995
49	蘇州	1995
50	蘇州	1995
51	東中国海を行く帆船	1993
52	仏国寺　慶州　韓国	1994
53	金銅菩薩立像　新羅　国立中央博物館 韓国	1991
54	三重石塔　新羅　慶州　韓国	1991
55	金銅弥勒菩薩半跏像 国立中央博物館 ソウル 韓国	1991

第3章　日本の美を描く

No.	作品名	制作年
56	浮御堂　琵琶湖	2000
57	琵琶湖と比叡山を望む	2000
58	延暦寺	2000
59	延暦寺　東塔	2000
60	延暦寺　大講堂	2000
61	延暦寺　根本中堂	2000
62	木の間の釈迦堂　比叡山延暦寺	1999
63	浄瑠璃寺	1994
64	薬師寺の塔　奈良	1991

65	薬師如来像　薬師寺　奈良	1991
66	薬師寺の夕べ	1997
67	日光菩薩像　薬師寺　奈良	1991
68	法隆寺	1994
69	法起寺　三重塔　奈良	1991
70	奥入瀬川	1962
71	宮島	1997
72	蓮華	1997

第４章　大唐西域画

No.	作品名	制作年
74	明けゆく長安大雁塔　中国	2007
75	嘉峪関を行く　中国	2007
76	高昌故城　中国	2007
77	西方浄土須弥山	2007
78	バーミアン石窟　アフガニスタン	2007
79	デカン高原の夕べ　インド	2007
80	ナーランダの月　インド	2007

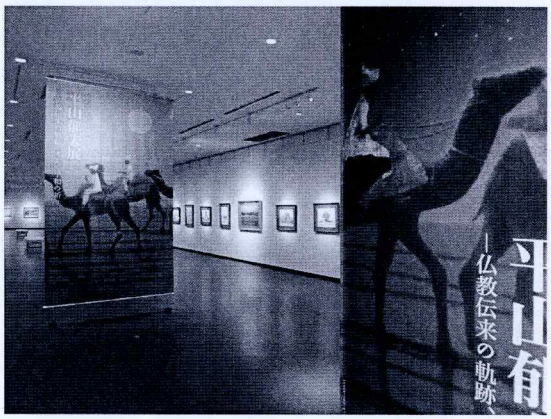
参考出品：大唐西域壁画殿模型

第５章　平和の祈り

No.	作品名	制作年
73	平和の祈り―サラエボ戦跡	1996

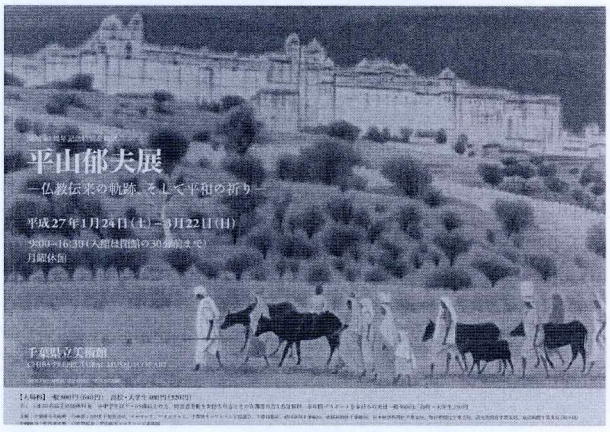
第６章　平山郁夫の眼差し　－心の風景を求めて－

No.	作品名	制作年
81	ポンペイ壁画幻想（Ⅰ）	1965
82	西域の千仏洞 (トルファン　ベゼクリク)	1979
83	パルミラの月	1980
84	ペルセポリスの遺跡　イラン	1994
85	流水間断無（奥入瀬渓流）	1994
86	八雲立つ出雲路古代幻想	1998
87	平成の洛中洛外図	2003
88	平成洛中洛外図	2004
89	シルクロードを行くキャラバン (東・太陽)	2005
90	古城ジャイサルメール	2005
91	シルクロードを行くキャラバン（西・月）	2005
92	朧月夜　ブルーモスク　イスタンブール	2007
93	文明の十字路を往く ―アナトリア高原　カッパドキア・トルコ	2009



第１展示室 会場入口バナー

第８展示室



展覧会チラシ

4　第38回千葉県移動美術館

今年度は耐震改修工事により休館中のため、県内文化施設2会場で「千葉県移動美術館」を開催した。また、各会場ではギャラリートークとワークショップも行った。

浦安会場

会　　期　平成26年7月26日(土)～8月10日(日)
開催日数　15日間
会　　場　浦安市民プラザ Wave101
展示点数　29点
入場者数　773名

■関連事業

ギャラリートーク	7月26日(木)	13:00～	12名
ワークショップ「缶バッジを作ろう」	7月26日(木)	13:00～	14名

No	作家名	作品名	制作年
<日本画>			
1	石井林響	浦島太郎図	不詳
2	富取風堂	葛西風景	1937
3	松尾敏男	原野	1971
4	渡辺阿以湖	牡丹	1986
<洋画>			
5	フォンタネージ	木立	1868-72頃
6	トロワイヨン	河辺の道	1860-65
7	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
8	浅井　忠	小丹波村	1893
9	安藤信哉	パリの窓	1962
10	石井柏亭	冬の朝（行徳）	1909
11	梅原龍三郎	竹窓読書図	1937
12	小堀　進	大穹	1974
13	柴田祐作	佐原風景	1980
14	椿　貞雄	黒壺に椿一輪	1948
15	中西利雄	四人の女	1939
<彫刻>			
16	高村光太郎	裸婦座像	1916頃
17	山本正道	ヴァージニア	1985
<工芸>			
18	青木滋芳	早瀬	1971頃
19	香取秀真	鳩香炉	1949
20	津田信夫	鳳翔薫炉	1937
21	藤田喬平	飾筥朱雀	1985
22	増村益城	紙胎朱溜葉盤	1987
23	宮之原謙	象嵌磁鉢	1968
<書>			
24	浅見喜舟	麟出鳳翔	1973
25	小川瓦木	了々	1988
<版画>			
26	永瀬義郎	孔雀の女王	1973
27	野田哲也	Diary:Aug.9th'81 to Nakatsugawa	1981
28	浜口陽三	西瓜	1981
29	星　襄一	夜明け	1975

柏会場

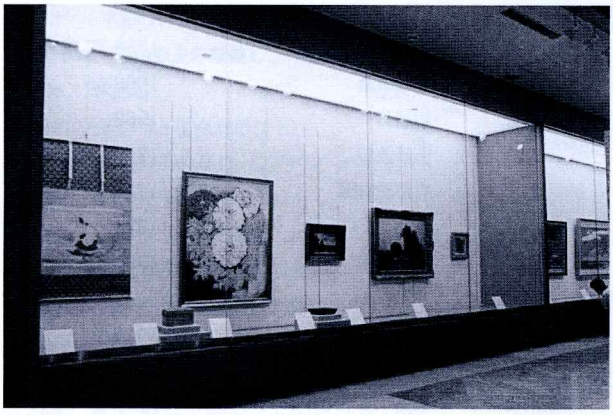
会　　期　平成26年8月23日（土）～9月7日（日）
開催日数　14日間
会　　場　さわやかちば県民プラザ1階県民ギャラリー
展示点数　20点
入場者数　883名

■関連事業

ギャラリートーク	8月30日(木)	13:00～	42名
ワークショップ「缶バッジを作ろう」	8月30日(木)	13:00～	30名

No	作家名	作品名	制作年
<日本画>			
1	石井林響	浦島太郎図	不詳
2	渡辺阿以湖	牡丹	1986
<洋画>			
3	フォンタネージ	木立	1868-72頃
4	トロワイヨン	河辺の道	1860-65
5	秋元　恒	切通し	1969
6	浅井　忠	小丹波村	1893
7	梅原龍三郎	竹窓読書図	1937
8	小堀　進	大穹	1974
9	中西利雄	四人の女	1939
<彫刻>			
10	高村光太郎	裸婦座像	1916頃
<工芸>			
11	青木滋芳	早瀬	1971頃
12	香取秀真	鳩香炉	1949
13	信田　洋	夕映の甲斐の山々	1987
14	藤田喬平	飾筥朱雀	1985
15	増村益城	紙胎朱溜葉盤	1987
16	宮之原謙	象嵌磁鉢	1968
<書>			
17	浅見喜舟	麟出鳳翔	1973
<版画>			
18	永瀬義郎	孔雀の女王	1973
19	野田哲也	Diary:Aug.9th'81 to Nakatsugawa	1981
20	浜口陽三	西瓜	1981

浦安会場 ギャラリートーク



柏会場

ポスター

■普及事業■

1　特別企画展
「平山郁夫展－仏教伝来の軌跡、そして平和の祈りー」関連事業

①記念対談「平山郁夫とともに」

平山郁夫夫人の美知子氏と長年取材旅行に同行した弥生画廊の小川貞夫氏が平山の取材旅行時のエピソードを掛け合いで語った。平山のスケッチの正確なこと、取材地の過酷な状況などをお聞きすることができた。

期　　日　平成27年3月7日（土）
場　　所　講堂
講　　師　平山美知子氏(平山郁夫シルクロード美術館館長)

②ワークショップ「はじめての日本画体験」

「砂子」「蒔絵」など、金箔を使用した日本画の技法体験。本格的な日本画の道具や材料に触れたことがない子どもたちに、楽しく日本画に親しんでもらうことを目的とした。

会　　場　研修室
期　　日　平成27年2月15日（土）
時　　間　午前の部　9:30～11:30
　　午後の部　13:00～15:00
講　　師　鷹濱春奈氏(東京藝術大学大学院後期博士課程)
　　河原佳幸氏（東京藝術大学大学院修士課程）
対　　象　小学生
参加者数　午前の部　21名
　　午後の部　22名

③ミュージアムコンサート

（1）オープニングコンサート

弦楽四重奏による室内楽コンサート（約45分）

曲　　目
1　ヴィヴァルディ／協奏曲集「四季」より「春」
2　パッヘルベル／カノン
3　バッハ／主よ人の望みの喜びよ
4　ハイドン／弦楽四重奏曲「皇帝」より第2楽章
5　モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハトムジーク
アンコール　バッハ／G線上のアリア

会　　場　第7展示室
期　　日　平成27年1月24日(土)
時　　間　開場13:00／開演13:30
演　　奏　ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバー
　　第1ヴァイオリン　長尾　裕子
　　第2ヴァイオリン　下城瑠五子
　　ヴィオラ　高田美樹子
　　チェロ　海老澤洋三
司　　会　中里かほり
参加者数　281人

（2）高校生による新春コンサート

曲　　目（第1部　約40分）
1　アナと雪の女王メドレー
2　「となりのトトロ」よりさんぽ
3　「もののけ姫」より「アシタカせっ記」
4　軍師官兵衛
5　「白鳥の湖」より「情景、ワルツ」

曲　　目（第2部　約40分）
1　軍師官兵衛
2　「となりのトトロ」より「さんぽ」
3　歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲
4　交響詩「レ・プレリュード」
5　ふるさと

場　　所　第7展示室
期　　日　平成27年1月25日(日)
時　　間　第1部　開場13:30／開演14:00
　　第2部　開演15:00
演　　奏　千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部
参加者数　第1部、第2部　計562人

（3）ミュージアムコンサート

曲　　目　第1部　異国への憧れ
1　喜多郎／「シルクロード」より「絲綢之路」
2　佐々木すぐる／月の沙漠
3　ボロディン／歌劇「イーゴリ公」より「だったん

人の踊り～中央アジアの平原にて」
4　プッチーニ／歌劇「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」
5　ブラームス／ハンガリー舞曲第５番
6　モンティ／チャルダッシュ
曲　　目　第２部　郷愁のメロディー
7　ドヴォルザーク／ユーモレスク
8　ドヴォルザーク／弦楽四重奏曲「アメリカ」より第１楽章（７）
9　チャイコフスキー／アンダンテ・カンタービレ
10　ロンドンデリーの歌（アイルランド民謡）
11　アニー・ローリー（スコットランド民謡）
12　アンコール　岡野貞一／ふるさと
会　　場　講堂
期　　日　平成 27 年２月７日（土）
時　　間　開場 13:00 ／開演 13:30
演　　奏　ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバー
　　第１ヴァイオリン　本庄篤子
　　第２ヴァイオリン　小泉百合香
　　ヴィオラ　宇佐美久恵
　　チェロ　若狭直人
司　　会　中里かほり
参加者数　200 人

（４）千葉シニアアンサンブル・それいゆコンサート

曲　　目（第１部）
1　アラゴネーズ　ビゼー作曲、笹森敏明編曲
2　シルクロードのテーマ　喜太朗作曲、笹森敏明編曲
3　ペルシャの市場にて　ケテルビー作曲、笹森敏明編曲
4　アメージンググレース　笹森敏明編曲
5　キャラバン　デュークウェリントン作曲、笹森敏明編曲
6　月の砂漠　佐々木すぐる作曲、松本洋二編曲
7　シバの女王　ローレント作曲、笹森敏明編曲
8　コンドルは飛んで行く　笹森敏明編曲
9　君をのせて　久石　譲作曲、笹森敏明編曲
10　みかんの花咲く丘　貝沼 実作曲、笹森敏明編曲
11　花は咲く　菅野よう子作曲、笹森敏明編曲ほか
期　　日　平成 27 年３月 21 日（土）
時　　間　開場 13:00 ／開演 13:30
場　　所　講堂
演　　奏　千葉シニアアンサンブル・それいゆ
参加者数　250 人

（1）オープニングコンサート

（2）高校生による新春コンサート

（3）ミュージアムコンサート

（4）千葉シニアアンサンブル・それいゆコンサート

2　ワークショップ

創作体験を通して、美術に親しむ心情を育てることを目的に、主に小学生を対象として、年５回開催した。

第1回ワークショップ

「いろいろ作ろう、美術館の縁日だよ!」

会場に５箇所のブースを設け、参加者は縁日のようにブースを巡りながら作品作りを行った。各ブースにはスタンプを設置し、参加者はスタンプを集めてまわる。各ブースは以下の通り。

①かっこいいカンバッジを作ろう！
②頭の良くなる多角形を作ろう！
③プラスチックのストラップを作ろう！
④割りばしでっぽうを作ろう！
⑤ビルダーカードで遊ぼう！

日　　時　平成26年５月17日(土)　13:00～16:00
会　　場　さわやかちば県民プラザ
対　　象　小学生（未就学児は保護者同伴）
参加者数　86名

第２回ワークショップ

「小さなアニメーションを作ろう!」

人間の視覚の仕組みを応用したアニメーションの一つ「フェナキスティスコープ」の制作を行った。作品が完成したら、円盤を回転させ描いた絵が動く様子を鏡で見、また、iPadアプリ「iMotion」を用いて撮影をし、テレビモニターで上映して合評会を行った。アニメーションの原理を知るとともに、作品鑑賞の視点も学んだ。

日　　時　平成26年６月21日(土)　13:00～15:00
会　　場　千葉市生涯学習センター
対　　象　小学３～６年生
参加者数　12名

第３回ワークショップ「立体万華鏡を作ろう！」

プラスチック製のミラーにオリジナルの絵柄を描き色を付け、立方体の万華鏡を作った。外の光が、万華鏡の中で幾重にも映り込んで幻想的な世界が広がり、作品制作の達成感を味わった。

日　　時　平成26年８月16日(土)　13:00～15:00
会　　場　千葉ポートタワー
対　　象　小学３～６年生
参加者数　27名

第４回ワークショップ

「オリジナルモノレールを作ろう!」

千葉都市モノレールの新型車両アーバンフライヤーの約20分の１の段ボール模型を組み立てて、カッティングシート、色画用紙、色段ボールを使って、色をつけたり部品を取り付けて、オリジナルのモノレールに仕上げる。制作した作品は、千葉都市モノレール千葉駅改札内に吊って展示をした。

日　　時　平成26年９月27日(土)　13:00～15:00
場　　所　千葉都市モノレール千葉駅
対　　象　小学生親子
参加者数　46名（23組）
展示期間　９月27日～10月13日

第５回ワークショップ

「クリスマスオーナメントを作ろう！」

デコレーションした松ぼっくり、どんぐりの枝などを木の枝に吊り下げるガーランドの制作を行った。自然の素材を生かし、季節を味わう作品づくりとなった。

日　　時　平成26年11月29日(土)　13:00～15:00
会　　場　千葉ポートタワー
対　　象　小学生以上
参加者数　15名

第２回ワークショップ「小さなアニメーションを作ろう！」

第５回ワークショップ「クリスマスオーナメントを作ろう！」

3　実技講座

陶芸講座（基礎）

陶芸の初心者を対象に、4kgの信楽粘土を使用し、紐作り・板作りの技法で、コップ・茶碗・花瓶の3種を制作した。成形・削り・釉掛けの制作工程を体験することで、陶芸の基礎知識や技法を身につけ、陶芸の基礎と楽しさを学んだ。

開催場所　千葉県立房総のむら
期　　日　平成26年
　　5月28日(水)、5月29日(木)、5月30日(金)、
　　6月4日(水)、6月12日(木)、6月25日(水)
　　(講師指導日数は6日間)
時　　間　12:30～16:00
講　　師　鈴木久美子氏
受講者数　12名

陶芸講座（応用）

陶芸の経験者を対象に、5kgの信楽荒目粘土を使用し、自由度の高い作陶に挑戦した。焼成は房総のむらの登り窯で行い、窯の構造等の基礎知識を学ぶとともに、登り窯ならではの作品の仕上がりを楽しみ、陶芸のさらなる奥深さを習得した。

開催場所　千葉県立房総のむら
期　　日　平成26年
　　11月26日(水)、11月27日(木)、11月28日(金)、
　　12月3日(水)、12月4日(木)
　　平成27年
　　2月6日(金)、3月6日(金)
　　(講師指導日数は7日間)
時　　間　12:30～16:00
講　　師　鈴木久美子氏
受講者数　17名

金工講座

金属工芸の初心者から経験者を対象に、あて金、ハンマーなど各種道具の取り扱い方と絞り等の基本的な鍛金技法を身につけ、金工のむずかしさと楽しさを学んだ。銅板を素材として、日常で使用できるコップや小鉢等の容器を7日間のコースで丁寧に仕上げた。

開催場所　千葉県立美術館第2アトリエ
期　　日　2月3日(火)、2月5日(木)、2月10日(火)、
　　2月12日(木)、2月17日(火)、2月19(木)、
　　2月24日(火)
　　(講師指導日数は7日間)
時　　間　12:30～16:00
講　　師　平山記通氏
受講者数　11名

ホリデーアート　コラグラフ

木の葉や麻紐、網目やレース等身近な素材を版上に自由にレイアウトし、アルミ製版を作成。素材の特性を生かして抽象文様を表現し、自由な表現を楽しんだ。1回目で素材をレイアウトし、アルミ版を制作。2回目で多色で刷り、独特の雰囲気を醸す作品を完成させた。

開催場所　千葉県青少年女性会館
期　　日　平成26年
　　9月20日(土)、9月27日(土)
　　2日間で完成
　　(2日間、講師指導日数は2日間)
時　　間　13:00～16:30
講　　師　上田靖之氏
受講者数　各日8名

ホリデーアート　シルバーアクセサリー

シルバーアクセサリーは、純銀の粉末・水分・バインダー(結合材)の3種類の混合物で水溶性の銀粘土（シルバークレイ）を素材として制作する。造形・乾燥・焼成すると、銀の粉末が焼結して純銀になる。銀粘土をアクセサリーに成形し焼成させることにより、ほぼ純銀製の作品が完成した。1回目でペンダントトップ、2回目でリングを制作した。

開催場所　千葉県青少年女性会館
期　　日　平成26年
　　10月18日(土)、10月25日(土)
　　各日で募集
　　(2日間、講師指導日数は2日間)
時　　間　13:00～16:30
講　　師　武藤由利子氏
受講者数　計22名

金工講座

4　博学連携事業

貸出用学習キット

県内の学校や社会教育施設等を対象に、当館が所有しているアートカード、複製画、日本画素材ＢＯＸ、バーチャル・ミュージアム、ビルダーカードを学習支援キットとして貸出を行った。

（1）アートカードの貸出：小学校３件
（2）複製画の貸出:幼稚園１件、小学校１件、中学校１件、大学１件
（3）バーチャル・ミュージアム：大学１件
（4）ビルダーカードの貸出：小学校１件、大学１件

出張授業

当館の職員が学校や社会教育施設等に赴き、先生方と一緒に授業を行った。

（1）複製画を使用したプログラム：小学校２件、中学校１件、公民館１件
（2）日本画素材 BOX を使用したプログラム:幼稚園２件、小学校１件、中学校１件、
（3）バーチャル・ミュージアムを使用したプログラム：大学１件、公民館１件
（4）ビルダーカードを使用したプログラム：小学校８件、中学校１件、社会教育施設等６件、教員会研修会１件

当館での実演

来館した学校団体等に当館の学習キットを用いた教育活動を展開した。

（1）日本画素材 BOX を使用したプログラム:幼稚園１件、研修等２件
（2）バーチャル・ミュージアムを使用したプログラム：研修等３件
（3）ビルダーカードを使用したプログラム：日本赤十字社１件、研修等１件

今年度の学習キットの貸出、出張授業、当館での実演は、大学からの依頼が増加し、専門性を生かした美術館ならではのキットの需要が高まりつつある。

また、昨年度委託開発したアートゲームも運用準備が整い次第、貸出を開始する予定であり、小学校高学年以上をターゲットとしたプログラムも順次公開していく予定である。

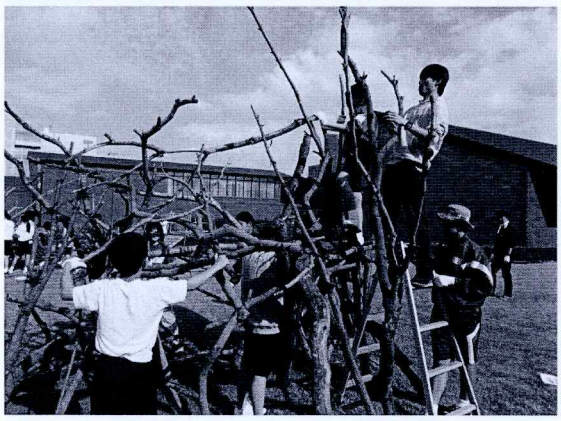
部活動・クラブ向けの取り組み

ワークショップ「等身大から始めよう～一歩、未来へ～」の実施

千葉大学教育学部加藤研究室と連携し、県内中学校美術部を対象としたワークショップを開催した。

場　　所　第７展示室前の芝生広場
日　　時　平成26年10月25日(土)　10:00 ～ 15:00
内　　容　間伐材とシュロ縄を用いて巨大オブジェを制作した。制作した作品は約４ヶ月間中庭に展示した。
参 加 校　印西市立滝野中学校、浦安市立堀江中学校、成田市立成田中学校、四街道市立四街道中学校（４校 40 名）

日本画素材 BOX 出張授業


ワークショップ「等身大から始めよう～一歩、未来へ」

5　地域連携事業

成田アート博覧会

成田山の参道にある仲町商店街で、成田市立成田中学校、成田市立成田小学校、成田市立美郷台小学校、成田市内中学校美術部、成田市観光協会、仲之町街づくり協議会との共催で、アートプロジェクト「成田アート博覧会」を実施した。

内　容

「私たちの成田と日本」というテーマで、小中学生が授業や部活動で制作した書道作品と美術作品（作品数81点）を用いてまちかど展覧会を実施。会場は、仲町商店街の28店舗と成田市観光館の2会場を使用。また、メイン会場となる成田市観光館での展示作業については、当館職員が成田市立成田中学校美術部の生徒に展示方法をレクチャーしながら会場を作り上げた。

場　所　仲町商店街各店舗
　　成田観光館3F

会　期　平成26年
　　11月15日（土）～11月30日（日）

実施団体　仲之町街づくり協議会、成田市立成田中学校、成田市立成田小学校、成田市立美郷台小学校、成田市立（遠山中学校、西中学校、公津の杜中学校、中台中学校、久住中学校）美術部、成田市観光協会、千葉県立美術館

他施設との連携事業

（1）船橋市西部公民館との連携講座

船橋市西部公民館が主催する講座において、連携講座「美術鑑賞講座」（全4回）を実施した。

1回目　「美術館とは」講義、バックヤードツアーと「平山郁夫展」鑑賞

2回目　「県美のアウトリーチ活動について」講義、複製画を使用したギャラリートーク・ゲーム

3回目　「展覧会とは」講義、バーチャル・ミュージアム実施体験

4回目　「日本画の画材について」講義と岩絵の具づくり体験、「平山郁夫展」鑑賞

場　所　千葉県立美術館、船橋市西部公民館

日　時　平成27年
　　2月4日（水）、18日（水）、25日（水）、
　　3月4日（水）
　　いずれも13:30～15:30

対　象　一般30名

（2）袖ケ浦市立長浦おかのうえ図書館主催ワークショップへの協力

袖ケ浦市立長浦おかのうえ図書館主催の「子どもの工作講座」において、当館職員が講師としてワークショップ「えほんで工作」を実施した。

場　所　袖ケ浦市立長浦おかのうえ図書館

日　時　平成26年
　　8月21日（木）13:00～16:30

対　象　小学生と保護者

参加者数　合計29名

ちばモノレール祭り2014

千葉都市モノレール主催のイベントにブース出店し、缶バッジ創作体験を行った。

場　所　萩台車両基地

日　時　平成26年10月17日（土）10:00～15:00

対　象　3歳以上（未就学児は保護者同伴）

参加者数　156名

成田アート博覧会

船橋市西部公民館との連携講座

袖ケ浦市立長浦おかのうえ図書館「子どもの工作講座」

ちばモノレール祭り2014

6 美術をとおした復興支援活動

被災地での出張ワークショップ「夢つくり隊～まちづくりプロジェクト～」の実施

日本赤十字社千葉県支部、釜石市教育委員会と連携し、岩手県釜石市内で子ども向けの出張ワークショップを実施した。

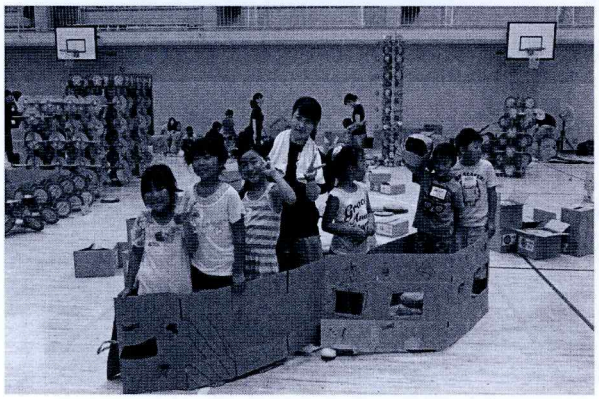
場　　所　釜石市立栗林小学校、釜石市立釜石小学校
期　　日　平成26年8月6日（水）～7日（木）
参加者数　合計45名

廃段ボールを使用したまちづくりワークショップ。「100年後の釜石をつくろう！」をテーマとして、「100年後の釜石にあったらいいもの」と「100年後まで釜石に残したいもの」について話し合い、未来図マップを作成してから段ボールで街を作り上げた。また、スタッフとして淑徳大学の福祉を学ぶ学生8名と千葉大学教育学部の学生2名が参加して、当日の運営の中核を担った。今年度は、学生スタッフを準備段階から参加させることにより、今まで当館と日本赤十字社千葉県支部が実施してきた復興支援ノウハウの引き継ぎを重視した活動を展開した。

「夢つくり隊～千葉県プロジェクト～」の実施

日本赤十字社千葉県支部と連携し、千葉県内の学校や社会教育施設等において「ビルダーカードあそび」の体験と、「夢つくり隊」に参加した職員により「何故このような活動が被災地で必要とされているのか」について講演を行った。

対　　象　小学校4件、中学校1件、教員研修会1件、社会教育施設等3件
参加者数　778名（9件合計）



7　活動協力など

1　友の会

（1）目的

”みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で教養を豊かにし、美術文化の向上を図り、会員相互の親睦を深める。

（2）組織

①会員数　　個人会員354名　賛助会員0名
②役　員　　会長1名、副会長3名、監事2名
③理　事　　7名

（3）事業

①友の会だより「しおさい」の発行
年4回各600部印刷し、会員に配布した。

②第39回葉美会の開催
会　場　千葉市教育会館（平成27年3月23日まで休館中のため、会場を変更）
会　期　平成26年10月16日(木)～10月27日(月)
出品者数　34名　展示点数60点
合評会　10月22日(火)千葉市教育会館1階ロビー

③秋の美術鑑賞の旅
東京都港区にある国立新美術館で「チューリヒ美術館展」を鑑賞し、昼食・散策後に目黒区美術館で「パリの日本人展」を鑑賞した。
会　場　国立新美術館・目黒区美術館
期　日　平成26年11月5日（水）
参加者数　35名

④館事業への協力
ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等に積極的に参加した。

⑤その他
絵葉書、図書等の販売

（4）友の会実技講座

①洋画講座1
期　日　平成26年6月2日(月)、3日(火)、6日(金)、9日(月)、10日(火)、16日(月)
会　場　千葉市教育会館
講　師　池田敏男氏
受講者数　37名

②洋画講座2
期　日　平成26年7月8日(火)～11日(金)、15日(火)、16日(水)
会　場　千葉市教育会館
講　師　羽生智樹氏
受講者数　32名

③洋画講座3
期　日　平成26年7月24日(木)、25日(金)、8月5日(火)～8日(金)
会　場　千葉市教育会館
講　師　竹久秀樹氏
受講者数　39名

④水彩画講座1
期　日　平成26年9月24日（水）～26日（金）
10月1日（水）～3日（金）
会　場　千葉市教育会館
講　師　青柳光枝氏
受講者数　17名

⑤洋画講座4
期　日　平成26年10月23日（木）、24日（金）、27日（月）、29日（水）～31日（金）
会　場　千葉市教育会館
講　師　濱田　清氏
受講者数　29名

⑥日本画講座
期　日　平成27年3月5日（木）～7日（土）
10日（火）～12日（木）
会　場　千葉県立美術館第2アトリエ
講　師　中村寛治氏
受講者数　14名

2　ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするためにボランティアを募集し、登録者数34名で活動した。活動内容は、ワークショップを中心とし、美術館職員に協力して、その準備と予行演習、内容の検討、当日の実技指導と運営などにあたった。平成27年1月24日再開館後は情報資料室での資料整理作業及び利用者に対するレファレンスサービスを行った。

ボランティアによる情報資料室資料整理

8　情報資料室

情報資料室は、美術への理解と関心を高め、美術振興に資することを目的に昭和55年9月に開室した。一般向けの美術図書や美術雑誌、展覧会図録などの図書資料を来館者の閲覧に供している。さらに、図書資料以外にも、情報資料室前のロビー等にポスター、チラシ、案内状を掲出し、各地の展覧会やイベント、講座等の美術に関する情報を提供している。

なお、平成26年度は6冊の寄贈を受け、収蔵図書数は6,588冊となった。

施設概要

面積／172.77㎡

席数／8席

開室時間／13:00～16:00

休室日／休館日、その他の臨時休室日

蔵書冊数

6,588冊

	平成25年度収蔵図書	平成26年度受贈図書	合計
総記	3,096冊	2冊	3,098冊
絵画	2,053冊	4冊	2,057冊
彫刻	312冊	0冊	312冊
工芸	416冊	0冊	416冊
版画	181冊	0冊	181冊
デザイン・建築	117冊	0冊	117冊
写真・映像	195冊	0冊	195冊
書	212冊	0冊	212冊
合計	6,582冊	6冊	6,588冊

■調査・収集事業■

1 平成 26 年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会場・会期（貸出期間）	申請者（貸出先）
赤城泰舒	赤屋根の村	千葉県立美術館所蔵 近代日本の水彩画	千葉市美術館 H26.5.20 ～ 6.29	千葉市美術館
浅井忠	フォンテンブローの森			
	大原女			
	花			
	農家			
石井柏亭	病児			
	晩春行楽図			
小堀進	真夏の海（太海）			
	風の日の海辺			
中西利雄	トリエール・シュール・セーヌ			
	人物			
	外房風景			
	四人の女			
不破章	描く O 君			
	裁縫女			
ミレー	垣根に沿って草を食む羊	生誕 200 年ミレー展 ー愛しきものたちへのまなざしー	山梨県立美術館 H26.7.19 ～ 8.31 府中市美術館 H26.9.10 ～ 10.23 宮城県美術館 H26.11.1 ～ 12.14	山梨県立美術館 府中市美術館 宮城県美術館
浅井忠	農婦（老婆）	佐倉学ー浅井忠展	佐倉市立美術館 H26.8.2 ～ 9.7	佐倉市立美術館
	平壌大同江煉光亭			
	沢入駅			
	金州城南門外			
	京都高等工芸学校の庭			
	婦人像			
	老母像			
	貔子窩第二軍司令部			
	金州城壁上			
	農家			
	渓流			
	曳舟通り			
	フォンテンブローの夕景			
	洋上の夕陽			
	本所風景			
	漁婦			
	灘家郵天長節祝宴			
	グレーの塔			
安井曽太郎	熱海附近	安井曾太郎の世界 ー人物画を中心にー	ふくやま美術館 H26.9.20 ～ 11.16 佐倉市立美術館 H26.11.22 ～ 12.25	ふくやま美術館 佐倉市立美術館
三宅克巳	小諸城址	生誕 140 年・没後 60 年記念 水彩表現の開拓者　三宅克巳 回顧展	徳島県立近代美術館 H26.10.11 ～ 12.7	徳島県立近代美術館
	ローマ			
	駿州三嶋在の緑陰			
	美濃養老公園			
松尾敏男	歴程	特集展「松尾敏男展」	平塚市美術館 H26.10.11 ～ 11.30	平塚市美術館

2　平成26年度新収蔵資料一覧

《洋画》

	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法（縦×横）cm
1	大野隆徳	越後	1918	キャンバス・油彩	寄附	44.0 × 52.0
2		万寿山玉蘭堂	1938	キャンバス・油彩	寄附	44.0 × 52.0
3		しま鯛	1940	キャンバス・油彩	寄附	30.0 × 49.0

3　平成26年度収蔵資料数一覧（平成27年３月31日現在）

	購　入	寄　附	保管替	合　計
日本画	128	183	26	337
洋画	355	550	41	946
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	249	10	408
書	110	163	14	287
版画	175	106	5	286
合計	1,000	1,300	107	2,407
研究資料	243	1,322	54	1,619

2414

■管理運営■

千葉県立美術館の使命

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1．調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。

2．美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。

3．県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。

4．美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

1　組　織

千葉県立美術館

庶　務　課
- ○文書の収受、発送、整理及び保存に関すること
- ○予算の経理、決算その他会計事務に関すること
- ○職員の給与、服務その他の人事及び福利厚生に関すること
- ○関係機関及び団体との連絡調整に関すること
- ○個人情報等に関すること
- ○教育財産管理に関すること
- ○その他他の課に属さない事務

普　及　課
- ○講演会、講座、ワークショップ等の企画・運営に関すること
- ○美術館講座、博物館実習、インターンシップ、ガイダンス等の企画・運営に関すること
- ○年報、館報等の編集及び発行その他広報普及活動に関すること
- ○美術資料及び情報の整理及び公開利用に関すること
- ○団体展の展示、運営に関すること

学　芸　課
- ○美術資料の収集、保管及び展示に関すること
- ○美術館資料の技術的、専門的な調査研究に関すること
- ○企画展覧会等の開催に関すること
- ○美術館資料の貸借に関すること

千葉県博物館協議会

○教育機関設置条例第21条の２の規程により組織、運営している。
○館運営の円滑化を図るため、館長の諮問機関として置かれ、学校教育、社会教育関係者並びに学識経験者の中から県教育委員会が任命している。

千葉県立美術館友の会

○館の活動と提携し、展覧会・実技講座・美術鑑賞の旅の開催、会報の発行などを行っている。

2　平成26年度職員

館　長		安藤三之
副館長兼庶務課長事務取扱		所　甚一
副館長		金田雅成
庶務課	副主幹	山本恵美子
	主　査	安井美智代
	副主査	渡邊なな
	主　事	名古彩華
	主任用務員	長島則子
普及課	課　長	高橋　覚
	主任上席研究員	渋谷さゆり
	上席研究員	東　健一
	上席研究員	石倉亮治
	研究員	松田直子
学芸課	課　長	幅　大
	主任上席研究員	相川順子
	主任上席研究員	中松れい
	主任上席研究員	石崎千津子
	主任上席研究員	関口達彦

3　平成 26 年度利用状況

1　平成 26 年度入館者一覧表

	開館日数	入場者計	個人									
			計	有料			無料					
				計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65 歳以上	その他
4 月												
5 月												
6 月												
7 月												
8 月												
9 月												
10 月												
11 月												
12 月												
1 月	7	4, 400	4, 347	1, 325	1, 299	26	3, 022	31	1	60	2, 613	317
2 月	24	12, 233	11, 687	3, 379	3, 279	100	8, 308	97	2	141	7, 401	667
3 月	26	13, 403	13, 014	3, 215	3, 108	107	9, 799	122	0	211	8, 730	736
計	57	30, 036	29, 048	7, 919	7, 686	233	21, 129	250	3	412	18, 744	1, 720

	開館日数	団体										
		計	有料			無料						団体
			計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65 歳以上	その他	
4 月												
5 月												
6 月												
7 月												
8 月												
9 月												
10 月												
11 月												
12 月												
1 月	7	53	3	3	0	50	0	0	0	50	0	1
2 月	24	546	88	87	1	458	10	0	80	315	53	13
3 月	26	389	172	171	1	217	0	0	0	215	2	12
計	57	988	263	261	2	725	10	0	80	580	55	26

2　団体展一覧

耐震補強等改修工事に伴う休館のため、利用団体はなし。

4　千葉県立美術館耐震改修等工事

千葉県立美術館は開館して40年以上が経過しており、耐震強度不足や建物及び機器類の経年による性能劣化、施設機能と社会的ニーズの不一致などが見られたため、施設の長寿命化及び利用者サービスの向上を実現するため、耐震化、内外装改修、設備機器更新などの施設改修工事を実施した。

また、設備機器の更新では、時代のニーズである省エネルギー化やフリーメンテナンス化を行い、維持管理費、光熱費の縮減を図った。

既存建物概要

＜階数＞

地下1階、地上2階、塔屋1階

＜構造＞

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋　　根：鉄骨造

＜面積＞

敷地面積　33,057.87㎡

建築面積　8,777.94㎡

延床面積　10,663.57㎡

＜建物完成時期＞

・第1期工事（展示棟）　昭和49年3月31日完成

・第2期工事（管理棟）　昭和51年2月20日完成

・第3期工事（県民アトリエ）　昭和55年2月29日完成

・第4期工事（第8展示室）昭和63年8月31日完成

建築工事計画

（耐震補強）

構造の耐震補強計画は、既存屋根の仕上げを天然スレート3枚葺きから金属板段葺きに改修するなど、屋根全体の荷重を約25％の軽減を図るとともに、屋根面に新設の繋ぎ材の設置と地下階の吹抜け部に壁増設補強及び柱鋼板巻き補強を施すことで、建物全体の耐震性向上を実現した。

（屋根改修）

天然スレート3枚葺きから金属板段葺きに改修するに当たり、横葺きにすることと暗めの落ち着いた色にすることによって、一部残った天然スレート屋根と調和させた。

（玄関ホール改修）

玄関ホールは周囲がガラスに囲われているため、夏季には熱い空気がホール上部に滞留していたが、開閉可能なサッシを設置し、滞留する暑い空気を逃がす計画とした。

（展示室）

壁面の色は白で統一し、床は濃いグレーを基調とし、美術品の鑑賞に影響を与えない明るく落ち着いた展示室空間とした。

また、全面的に天窓を塞ぐことで自然光の取入れを無くし、すべて人工照明による方式とした。

（その他改修工事）

屋上防水改修や外部建具の補修・交換、鉄部の錆止め塗装等、維持保全及び設備改修に伴う内装改修を行った。

電気設備工事計画

（受変電設備、自家発電設備、直流電源設備）

設備老朽化による機能低下があったため、受変電設備機器、非常用発電設備、蓄電池設備等を更新した。

（幹線設備、動力設備）

老朽化した空調・衛生設備の更新に伴い、幹線ケーブル、動力制御盤を更新した。

また、空調設備改修に伴う動力制御盤の改修、及び既設動力制御盤の更新をした。

（拡声設備）

非常放送用アンプ、遠隔操作器を更新した。

また、外部向けスピーカーを増設した。

（トイレ呼出設備）

多目的トイレに押ボタンを設置し、事務室の表示盤で監視を行うようにした。

（監視カメラ）

監視カメラを3台増設し、録画装置を新設した。

（電灯設備）

展示室照明器具を、長寿命、省電力、紫外線・赤外線放出が少ないＬＥＤ照明に全面更新した。

また、照明設備改修に伴う分電盤の改修、及び既存分電盤の改修更新をした。

（防災設備）

自動火災報知設備、非常放送設備の機器を更新した。

（映像・音響設備）

美術館利用者、来館者へのサービス向上として、玄関ホールに映像配信設備（館内案内、常設展示の内容、美術館の活動報告等の情報コンテンツ発信システム）、ＡＶを設置し、映像及び音声の情報を有効的に活用し、より快適で実用的な環境を実現した。

玄関ホール：50インチディスプレイ

研　修　室：150インチHDスクリーン、プロジェクター

（照明計画）

展示室の照明計画はオリジナルデザインを継承し、照明器具は天井配置、ブラケット器具配置を生かしたＬＥＤ照明、スポット照明用ライティングダクトに更新した。

照明計画は以下を基本方針として計画した。

・既存の光源（ハロゲン、蛍光灯）をＬＥＤに更新することにより、省エネルギー化を図った。

・ＬＥＤは調光タイプとし、展示物に最適な明るさに調整可能とする。

・ウォールウォッシャーや展示ケース照明は電球色と昼白色を混合し、調光比率により色温度を可変可能にした。

・各展示室の明るさの基準として

第1～2展示室：展示物250lx、室内平均75lx

第3～6展示室：展示物250lx、室内平均250lx

機械設備工事計画

（熱源設備）

既設の主熱源のスクリュー型空気熱源ヒートポンプ式を１台とスクリュー型空気熱源回収式ダブルハンドル式を１台撤去し、小型のスクリュー型空気熱源ヒートポンプ熱回収式ダブルハンドル式を２台とガス焚き冷温水発生機２台に更新した。

また、空調用ポンプは全て更新した。

（空調設備、換気設備）

既設の空調機、可変風量装置（ＶＡＶ）、定風量装置（ＣＡＶ）、パッケージエアコン、送風機は全て更新し、館内の静音に配慮し、消音チャンバー、消音エルボを採用した。

また、玄関ホールにパッケージエアコンを設置し、夏季の冷房を強化した。冷媒ガスをモントリオール議定書に基づきHFC134 aに更新した。

外気による美術品への影響を考慮し、展示室系統の外気取入れ部には除塩フィルターと化学吸着フィルターを設置した。

（自動制御設備）

既設の壁掛け式中央監視盤、自動制御機器を更新した。

中央監視盤は美術館の運用に合わせ、液晶ディスプレイ式の扱い易いデスクトップタイプに更新した。

（衛生器具設備）

既存の全来館者用便所は経年劣化や配管の詰まりにより臭気が発生していたため、衛生器具、給水配管、排水配管をすべて更新するとともに、乾式床に改修し、悪臭元を無くした。

衛生器具は、節水型を採用することにより、省エネルギー化を図り、手洗い洗面器は来館者の利便性を考慮して自動水洗型に更新した。

回収式ダブルハンドル式を２台とガス焚き冷温水発生機２台に更新した。

また、空調用ポンプは全て更新した。

（空調設備、換気設備）

既設の空調機、可変風量装置（ＶＡＶ）、定風量装置（ＣＡＶ）、パッケージエアコン、送風機は全て更新し、館内の静音に配慮し、消音チャンバー、消音エルボを採用した。

また、玄関ホールにパッケージエアコンを設置し、夏季の冷房を強化した。冷媒ガスをモントリオール議定書に基づきHFC134 aに更新した。

外気による美術品への影響を考慮し、展示室系統の外気取入れ部には除塩フィルターと化学吸着フィルターを設置した。

（自動制御設備）

既設の壁掛け式中央監視盤、自動制御機器を更新した。中央監視盤は美術館の運用に合わせ、液晶ディスプレイ式の扱い易いデスクトップタイプに更新した。

（衛生器具設備）

既存の全来館者用便所は経年劣化や配管の詰まりにより臭気が発生していたため、衛生器具、給水配管、排水配管をすべて更新するとともに乾式床に改修し、悪臭元を無くした。

衛生器具は節水型を採用することにより省エネルギー化を図り、手洗い洗面器は来館者の利便性を考慮して自動水洗型に更新した。

（消火設備）

既設の全ての屋外消火栓ボックスをステンレス素地の消火栓に更新した。

また、既設のハロン消火設備のハロンボンベ及び容器開放装置を更新した。

（給湯設備）

宿直室のガス焚き給湯機を更新し、浴室のシャワーや浴槽への給湯を復旧した。

（ガス設備）

今回更新を行った空調用熱源のガス焚き冷温水発生器に都市ガスを引き込んだ。

設計及び工事監理者、施工者

〈設計及び工事監理者〉

株式会社　梓設計

〈施工者〉

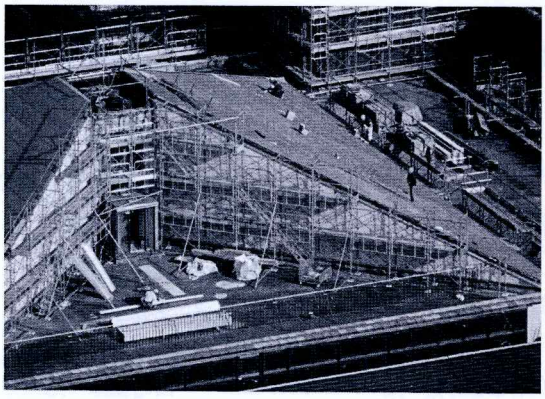
建　　築：株式会社　竹中工務店

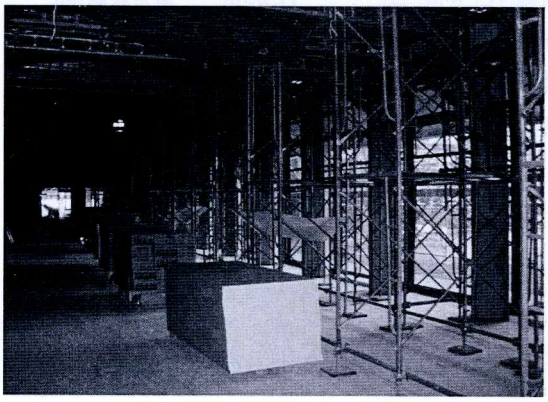
電気設備：関電工・小峰特定建設工事共同企業体

機械設備：東熱・芝特定建設工事共同企業体

〈工期〉

平成24年12月12日～平成26年9月30日





5 施設

展示棟

玄関ホール	102.40㎡
クローク	91.80㎡
倉庫A	2.70㎡
倉庫B	2.70㎡
第1展示室	437.76㎡
第2展示室	400.32㎡
第3展示室	469.08㎡
第4展示室	403.20㎡
第5展示室	824.19㎡
第6展示室	330.58㎡
第7展示室	566.56㎡
第8展示室	864.61㎡
食堂	119.52㎡
厨房	36.00㎡
従業員控室	17.28㎡
食堂ホール	49.20㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡
ロビー	335.52㎡
第1休憩室	23.04㎡
第2休憩室	23.04㎡
第3休憩室	23.04㎡
便所A	30.24㎡
便所B	23.76㎡
身障者用便所	7.92㎡
コントロール室	20.16㎡
フィルター室	28.92㎡
工作室	31.00㎡
発電気室	25.00㎡
電気室	123.20㎡
ポンプ室	76.80㎡
機械室	305.20㎡
機械室（新）	283.82㎡
高架水槽室	11.46㎡
E．V機械室	27.28㎡
E．V廻り	54.56㎡
ダクトスペース	35.68㎡
廊下等	123.48㎡
計 ①	6,343.02㎡

管理棟

(1階)	
第2会議室	22.62㎡
更衣室	14.38㎡
医務室	21.18㎡
文書庫	22.02㎡
警備員室	43.59㎡
第1会議室	20.15㎡
倉庫	7.19㎡
湯沸室	5.19㎡
便所	24.54㎡
宿直室	34.20㎡
物置	9.92㎡
用務員室	31.83㎡
審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡
旧燻蒸室	31.79㎡
資料倉庫	124.25㎡
荷解梱包保管室	52.67㎡
控室	21.94㎡
機械室	51.74㎡
廊下等	123.97㎡
小 計	1,183.85㎡
(2階)	
館長室	33.27㎡
副館長室	23.42㎡
第1応接室	14.67㎡
第2応接室	14.55㎡
庶務課室	112.34㎡
会議室	43.84㎡
学芸課・普及課室	195.32㎡
学芸相談室	23.91㎡
研究工作室	216.49㎡
写真スタジオ	54.30㎡
暗室倉庫	6.74㎡
旧暗室	12.19㎡
第1収蔵室	184.40㎡
第2収蔵室	42.81㎡
第3・4収蔵室	544.29㎡
E．V前室	16.39㎡
便所	21.50㎡
湯沸室A	3.24㎡
〃 B	6.87㎡
廊下等	60.94㎡
ダクトスペースその他	3.56㎡
小 計	1,635.04㎡
計 ②	2,818.89㎡

県民アトリエ棟

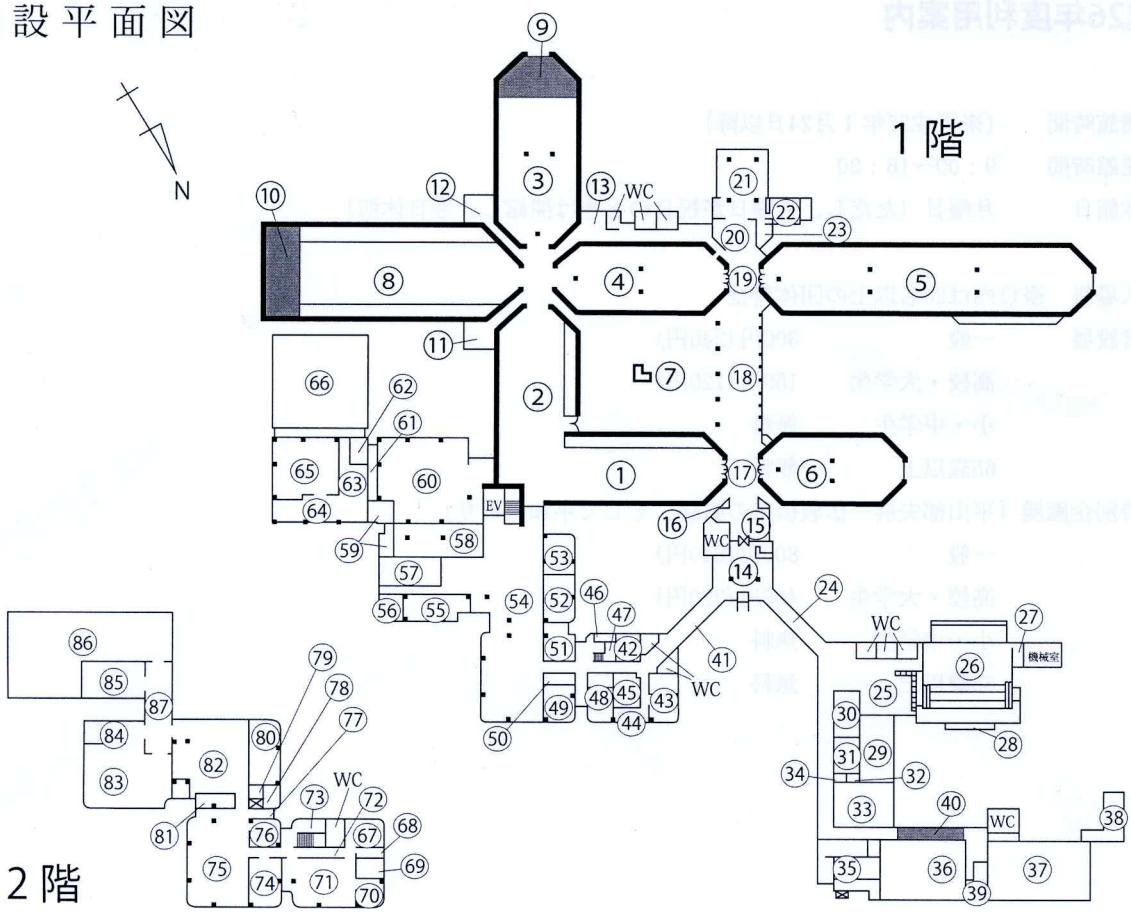
1F機械室	25.92㎡
講堂倉庫	8.64㎡
講堂	259.24㎡
コントロール室	30.33㎡
ホール側便所	29.97㎡
情報資料室	172.77㎡
情報資料室倉庫	4.70㎡
事務室	22.76㎡
研修室	74.70㎡
研修室倉庫	4.23㎡
第1アトリエ	155.70㎡
第2アトリエ	184.31㎡
第3アトリエ（和室）	95.47㎡
アトリエ側便所	20.77㎡
荷解室	25.65㎡
窯場	27.17㎡
窯場倉庫	6.66㎡
ホールその他	352.67㎡
計 ③	1,501.66㎡

合 計 10,663.57㎡
(①+②+③)

〈参考〉

＊展示室総面積	4,296.30㎡
＊収蔵庫総面積	771.50㎡

施設平面図



《展示棟》
1 第1展示室
2 第2展示室
3 第3展示室
4 第4展示室
5 第5展示室
6 第6展示室
7 第7展示室
8 第8展示室
9 第3展示室倉庫
10 第8展示室倉庫
11 休憩室1
12 休憩室2
13 休憩室3
14 玄関ホール
15 ミュージアムショップ
16 清掃用具置場
17 小展示室ロビー
18 ロビー
19 中展示室ロビー
20 食堂ホール
21 食堂
22 厨房
23 厨房控室

《アトリエ棟》
24 アトリエ通路
25 ホール
26 講堂
27 講堂倉庫
28 コントロール室
29 情報資料室
30 事務室
31 書庫
32 情報資料室倉庫
33 研修室
34 研修室倉庫
35 第3アトリエ（和室）
36 第1アトリエ
37 第2アトリエ
38 窯場
39 アトリエ搬入口
40 アトリエ廊下

《管理棟》
41 管理棟通路
42 第1会議室
43 第2会議室
44 医務室
45 文書庫
46 1F給湯室
47 用務員倉庫
48 警備室
49 警備員室
50 清掃用具置場
51 用務員室
52 機械室
53 旧燻蒸室
54 審査室・資料準備室・荷解室
55 荷解梱包保管室
56 控室
57 車庫
58 資料倉庫
59 コントロール室
60 B1機械室
61 フィルター室
62 発電機室
63 工作室
64 ポンプ室
65 電気室
66 第2機械室
67 館長室
68 応接室
69 資料室
70 副館長室
71 庶務課室
72 2F廊下
73 庶務給湯室
74 会議室
75 学芸課・普及課室
76 学芸相談室
77 学芸普及給湯室
78 旧暗室
79 暗室倉庫
80 スタジオ
81 仮収蔵庫
82 研究工作室
83 第1収蔵庫
84 第2収蔵庫
85 第3収蔵庫
86 第4収蔵庫
87 収蔵庫前室

平成26年度利用案内

■開館時間　（※平成27年１月24日以降）

開館時間　9：00〜16：30

休館日　月曜日（ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館）

■入場料　※()内は20名以上の団体料金

常設展

一般	300円(240円)
高校・大学生	150円(120円)
小・中学生	無料
65歳以上	無料

特別企画展「平山郁夫展―仏教伝来の軌跡、そして平和の祈り」

一般	800円(640円)
高校・大学生	400円(320円)
小・中学生	無料
65歳以上	無料

■交通

電車・モノレール

JR京葉線・千葉都市モノレール千葉みなと駅下車徒歩約10分

JR総武線千葉駅からバス利用

千葉駅東口《11番のりば》

「稲毛海岸駅」「幸町団地」「海浜病院」行（ポートアリーナ経由）『市役所中央署入口』下車徒歩約８分

千葉駅西口《26番のりば》千葉みなとループバス（タワーコース）「千葉ポートタワー」行

「千葉中央警察署」下車徒歩約５分

自動車

東京方面から　東関東自動車道『湾岸習志野』I.Cから約20分

成田方面から　京葉道路『穴川』I.Cから約20分

東金方面から　千葉東金道路『千葉東』I.Cから約20分

館山方面から　京葉道路『松ヶ丘』I.Cから約20分

駐車場無料（86台利用可・うち２台は身体障害者用）

平成26年度　千葉県立美術館年報（№41）

平成28年２月15日発行

発　　行　千葉県立美術館

〒260-0024　千葉市中央区中央港１丁目10番１号

Tel　043(242)8311

Fax　043(241)7880

URL　http://www.chiba-muse.or.jp/ART/

平成26年度利用案内

■休館時間　（平成27年1月29日）

開館時間　9：00～16：30

休館日　月曜日（ただし、月曜日が祝日の場合は翌日）　年末（12月

■入場料　お1人様（20名以上の団体料金

常設展　一般　300円（240円）

高校・大学生　150円（120円）

中・小学生　無料

65歳以上　無料

特別企画展（平山郁夫展ほか）の観覧、その他の場合

一般　800円（640円）

高校・大学生　400円（320円）

中・小学生　無料

65歳以上　無料

■交通

駅・タクシー

JR千歳線・千歳市内モノレール千歳空港駅より徒歩約5分

国道36号千歳市内ルート利用

千歳IC

「千歳市役所」「千歳駅前」「高架橋通」「ボード

千歳東IC

「長みなとパーク」「長

「日本医療大学」「中央通」を約5分

自動車

東京方面から　関越・東北自動車道「千歳IC」から約

仙台方面から　仙台東部道路「千歳東IC」から約20分

札幌方面から　千歳市内「千歳東IC」

旭川方面から　深川・留萌自動車道「千歳IC」

道央自動車道「千歳IC」

道央自動車道「千歳東IC」

〒066-0034　千歳市中央1丁目1番1号

Tel　0123(24)1111

Fax　0123(24)7980

URL　http://www.chitose-museum.or.jp/